



研究で身につけた力を“見える形”にする

院生さんなら
(申請したら)
みんな
もらえるよ

TSパスポート



詳しくはキャリア開発支援本部のHP https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/
大学院生の強み = トランスファラブルスキルのページで

文部科学省が推奨する*、大学院生の強み = トランスファラブルスキル (Transferable Skills : TS = 研究で培われる転用可能な能力) は、大学院の授業、研究活動、研究インターンシップ等の中で、自分ごととして意識化することで発見、強化することができます。TSパスポートは、これを段階的に整理・言語化して、キャリア選択や就職活動で活用できる形にする奈良女子大学独自の制度です。

* <https://www.mext.go.jp/kaigisiryu/content/000033161.pdf>

《TS-パスポート B (Basic)》 →→ 履修科目で自己分析！

- あなたの受けた科目もTSとつながっています
 大学院（博士前期課程）の授業をTS-RISEで「スキル」という観点からとらえてみよう

《TS-パスポート A (Advanced)》 →→ 自分の強みを言語化しよう

- 強みは「表現できてこそ」希望するキャリアへのパスポートになります
 あなたの研究活動から生まれた「強み」をTS-RISEをヒントに言葉にしよう。詳しくはHPで！

TSパスポートの活用例…履歴書・エントリーシートにも書ける

- TS-RISEは大学院生の就活の武器になる

このTSパスポートって
何ですか？

なるほど、院生ならではの強みですね



TSパスポートについて説明するだけでなく、**研究のエピソード**で、特に注力した**スキル**についてもアピールしよう！



C-ENGINE は産と学の交流をおとじて
イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコンソーシアムです

学生が身につけるべきトランスファラブルスキル R I S E

トランスファラブルスキルRISEは、研究者として自立するためのスキルセットであり、大学や企業など、どこにおいても有効に活用されます。これは研究を通じて培われ、再発見・意識されることで、今後のキャリア/IXに活かすことができます。

Research governance and organisation 研究遂行に関するスキル	Intelligence and knowledge 知識・知的能力	Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル	Effectiveness 自己開発に係るスキル
R-1 安全、コンプライアンス意識および情報管理技術 ・健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が理解できる ・研究者としての情報管理、技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる	I-1 理論的知識、情報収集力、数学的応用力、語学力・文章読解力 ・課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる ・数理科学の知識をベースに数値解析ができる	S-1 チームワーク、他者との協働 ・チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる ・他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる	E-1 研究への取り組み姿勢 ・強みと弱みを自覚し、研究に活かすことができる ・熱意、持続力、忍耐力、責任感、主体性、専門家としての矜持を持って行動できる
R-2 研究の基本的な進め方 ・研究の目的、意義を理解して、課題設定を行い、研究を取り巻く諸事（要因）に配慮しながら研究計画を立てることができる	I-2 分析/統合力、論理的思考力、問題解決力 ・課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる	S-2 コミュニケーション能力 ・研究遂行にあたって研究内外および異分野の関係者の理解を得ることができる ・様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる	E-2 自己管理、時間管理 ・目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える ・ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる
R-3 資金管理・調達 ・研究を進める際、および、事業を行うにあたっての資金管理、調達の仕組み、実際の理解ができる	I-3 洞察力、探究心、議論展開力 ・自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、画期的/創造的な議論ができる	S-3 研究結果の社会への還元 ・研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる ・社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考察・発案することができる ・グローバル展開の重要性が理解できる	E-3 キャリア開発、専門能力開発 ・専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している ・経験を分析的に振り返り、自己改善のサイクルを追求する ・キャリアアップを働くことができる ・幅広い研究コミュニティ内で、信頼関係に基づいて協力的なネットワークを構築する

RISEの各項目とその内容は、Visio® Research Development Frameworkを参考に作成しました。
 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE)

TS-RISE は4×3=12に整理されたスキルの一覧で、産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE) が策定したものです。より詳しい「具体例付きのシート」も上記サイトからダウンロードできます。「強み」の言語化にお役立てください。

お問合せ： 男女共同参画推進機構
 キャリア開発支援本部
 E-mail career-k@cc.nara-wu.ac.jp
 TEL 0742-20-3572 @G棟4階 G406